

第2章 温室効果ガスの排出状況

第1節 日本における温室効果ガス排出状況

環境省から公表されている、わが国の温室効果ガス排出量は 表：4 に示すとおりとなっております。

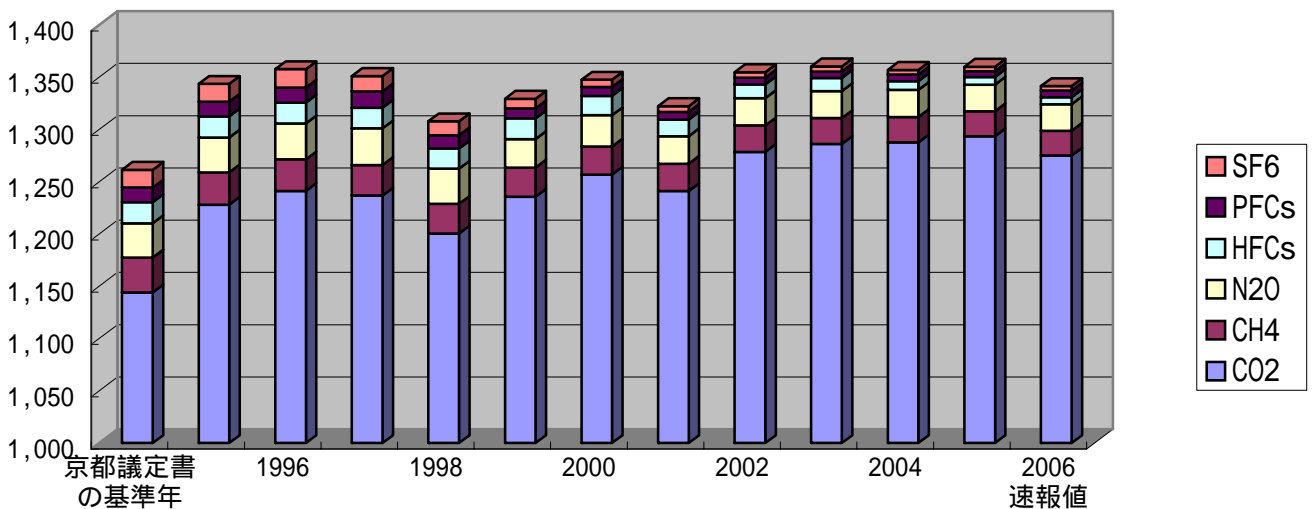
京都議定書目標では1990（平成2）年を基準年として、第1約束期間の2008（平成20）年から2012（平成24）年で6%を削減することとしております。表：4 をグラフで示したものが グラフ：1 となり、速報値の2006（平成18）年をみると約95%を二酸化炭素が占めています。

表：4 わが国の温室効果ガスの推移

（単位：百万tCO₂）

	GIP 注：2	京都議定書の 基準年 1990	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006 速報値 注：3
二酸化炭素 (CO ₂)	1	1,144.1	1,228.1	1,241.1	1,236.8	1,200.5	1,235.8	1,256.7	1,241.0	1,278.6	1,286.2	1,287.6	1,293.5	1,275.0
メタン (CH ₄)	21	33.4	31.0	30.2	29.2	28.3	27.7	27.0	26.2	25.2	24.7	24.3	24.1	23.8
一酸化二窒素 (N ₂ O)	310	32.6	33.4	34.5	35.2	33.7	27.3	29.9	26.4	26.1	25.9	25.9	25.4	25.4
ハイドロフルオロカーボン類 (HFCs)	HFC-134a： 1,300など	20.2	20.2	19.8	19.8	19.3	19.8	18.6	15.8	13.1	12.5	8.3	7.1	6.7
パーフルオロカーボン類 (PFCs)	PFC-14： 6,500など	14.0	14.0	14.5	15.5	12.6	9.7	8.6	7.2	6.5	6.2	6.3	5.7	6.3
六フッ化硫黄 (SF ₆)	23,900	16.9	16.9	17.5	14.8	13.4	9.1	6.8	5.7	5.3	4.7	4.5	4.1	4.3
計		1,261.3	1,343.6	1,357.7	1,351.2	1,307.8	1,329.4	1,347.6	1,322.4	1,354.9	1,360.2	1,357.0	1,359.9	1,341.5

グラフ：1 温室効果ガスの変化



第2節 和寒町における温室効果ガス排出状況

1. 基準年度の活動量

和寒町の基準年度である平成19年度における活動項目別の活動量は表：5のとおりとなっています。

表：5 活動項目別活動量

活動項目		単位	活動量	主な使用目的	
燃料 使用量	ガソリン	L	22,525	公用車	
	灯油	L	244,587	暖房	
	軽油	L	51,713	公用車、バス	
	A重油	L	355,816	暖房	
	LPガス	Kg	6,913	給湯、調理	
電気使用量（北電）		kWh	3,069,872	照明、動力	
公用車 の走行 距離	ガソリン	普通・小型乗用車	km	75,900	出張、現場確認
		軽乗用車	km	23,748	出張、現場確認
		小型貨物車	km	15,746	出張、現場確認
		軽貨物車	km	18,904	現場確認
	軽油	普通・小型乗用車	km	19,529	出張、現場確認
		小型貨物車	km	9,722	出張、現場確認
		特殊用途車	km	3,936	送迎
		バス	km	130,195	送迎、町営バス
カーエアコンの使用台数		台	34		
廃棄物埋立量		Kg	74,250	シュレッダ -ごみ	
下水処理量		m ³	34,757	施設下水	
し尿処理量		m ³	57,900	施設浄化槽	

活動項目別の活動量は、表：1 の対象施設・公用車の燃料等の使用量を集計したものです。

2. 温室効果ガス総排出量

2007(平成19)年度(基準年度)の和寒町における事務事業により排出される温室効果ガスは、表：5の活動量と表：3の排出係数、地球温暖化係数から表：6の排出量となり、グラフ：2のとおり二酸化炭素(CO₂)が全体の約95%を占める割合で次いでメタン(CH₄)の3.7%となりました。

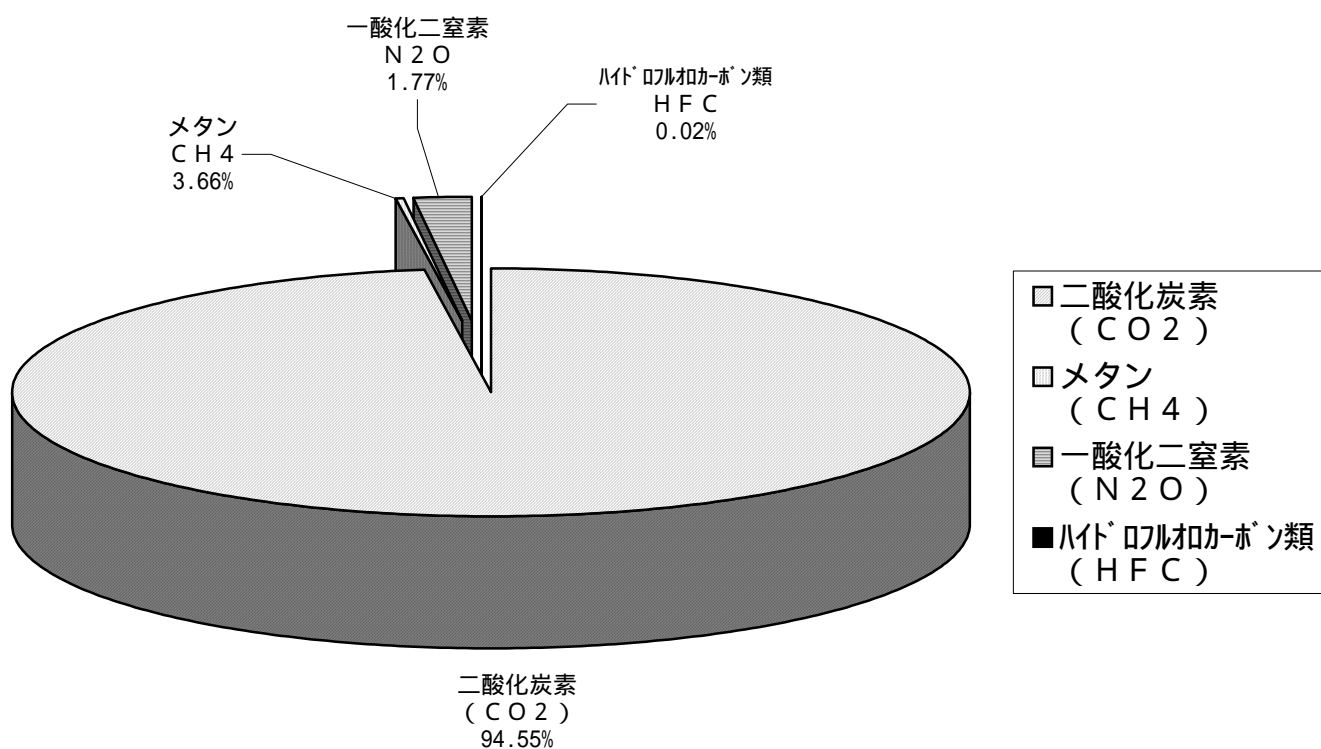
また、パーフルオロカーボン類(PFC)と六フッ化硫黄(SF₆)の温室効果ガスは和寒町の事務事業からは対象となる排出量がありませんでした。

表：6 平成19年度和寒町における温室効果ガス

(単位：kg-CO₂)

温室効果ガス	二酸化炭素 (CO ₂)	メタン (CH ₄)	一酸化二窒素 (N ₂ O)	ハイドロフルオロカーボン類 (HFC)	総排出量
年間排出量	3,488,296	135,030	65,290	663	3,682,920
排出割合	94.55%	3.66%	1.77%	0.02%	100.00%

グラフ：2 温室効果ガスの割合



3. 温室効果ガス排出量

総排出量を温室効果ガス別と活動別にすると 表：7 となります。

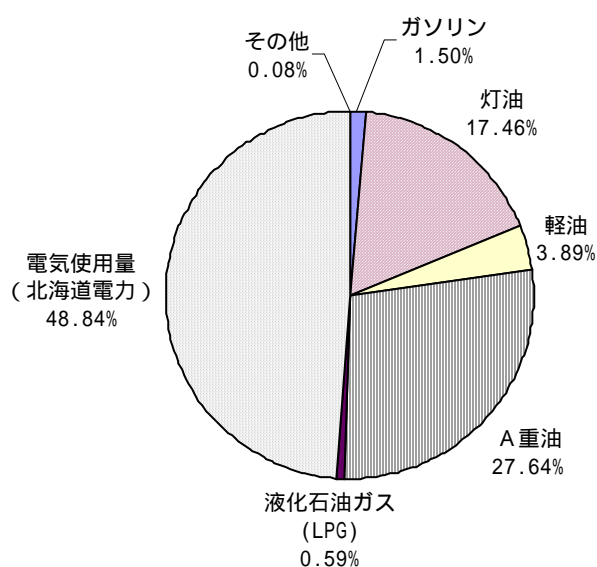
また二酸化炭素（CO₂）とメタン（CH₄）をグラフにすると グラフ：3 のようになります。

表：7 ガス別・活動別排出量

温室効果ガス詳細		温室効果ガス排出量	割合
二酸化炭素 (CO ₂)	ガソリン	52,258 kg-CO ₂	1.50 %
	灯油	609,022 kg-CO ₂	17.46 %
	軽油	135,488 kg-CO ₂	3.89 %
	A重油	964,261 kg-CO ₂	27.64 %
	液化石油ガス(LPG)	20,739 kg-CO ₂	0.59 %
	電気使用量(北海道電力)	1,703,779 kg-CO ₂	48.84 %
	その他	2,749 kg-CO ₂	0.08 %
	合計	3,488,296 kg-CO ₂	100.00 %
メタン (CH ₄)	自動車	80 kg-CH ₄	0.46 %
	廃棄物の埋立	251 kg-CH ₄	1.44 %
	下水処理・し尿処理・浄化槽	17,090 kg-CH ₄	98.10 %
	合計	17,421 kg-CH ₄	100.00 %
一酸化二窒素 (N ₂ O)	自動車	2,210 kg-N ₂ O	3.38 %
	下水処理・し尿処理・浄化槽	63,080 kg-N ₂ O	96.62 %
	合計	65,290 kg-CH ₄	100.00 %
ハイドロフルオロカーボン類 (HFC)	カーエアコンからの排出	663 kg-HFC	100.00 %

グラフ：3 二酸化炭素・メタン排出量

二酸化炭素(CO₂)の排出割合



メタン(CH₄)の排出割合

